



# FCP活動について

# FCP活動について

平成20年に発足したフード・コミュニケーション・プロジェクト(FCP)では、FCP活動の考え方として、「FCP基本的な考え方」、「FCP基本理念」、「FCP行動指針」を文章化し、掲げてまいりました。今回、内容を精査し、語句の整合性をとり、より適切な表現を使用することで、FCP活動をより分かりやすく示していきたいと考えています。

## 現在、FCPのホームページで示しているもの

FCPの副タイトル

「FCPの基本的な考え方」

「FCP基本理念」

「FCP行動指針」

## FCPの基本的な考え方

<http://www.food-communication-project.jp/intro/index.html>より

### 食品事業者のみなさんと作り上げるプロジェクト

#### 食品事業者に対する、消費者の信頼向上を図る

食品事業者が、自らの顧客ニーズを見極め、創意工夫を発揮してビジネスを展開することを通じて、「食」に対する消費者の信頼向上を目指します。そして食に携わる関係者がそれぞれの活動を展開することにより、意欲的な食品事業者へメリットが還元され、その取組が持続的に充実・強化される姿を理想とします。

# FCP基本理念



## 「食」への信頼、見える化計画

FCPは、食品事業者、関連事業者、行政、消費者等の連携により消費者の「食」に対する信頼の向上に取り組むプロジェクトです。

「食」の供給に携わる食品事業者は、その社会的な使命として、消費者の「食」に対する信頼の向上に取り組む必要があります。また、食品事業者を支える関連事業者等も、食品事業者の活動を通して、消費者の「食」に対する信頼向上に関わることが大切です。

食品が食卓に届くまでのフード・チェーンは長く、複雑で、一食品事業者や一関連事業者等の個別の努力のみでは、消費者の「食」に対する信頼を高めていくことは困難です。さらに、信頼を高めるためには、事業者と消費者の相互理解と、消費者からのアプローチも必要となります。

このため、FCPは、立場の異なる食品事業者や関連事業者、そして消費者を結び付ける共通言語である「協働の着眼点」を活用しつつ、事業者と消費者の対話をベースとした協働の取組みを進めることで、フードチェーン全体において食品事業者の取組みの「見える化」を進めていきます。

# FCP行動指針

FCPに参加する者は、FCPの基本理念に則り、以下の行動指針を遵守するものとします

- 1.消費者の「食」に対する関心や期待に向き合い、「食」に対する信頼の向上に主体的に取り組みます。
- 2.消費者の「食」に対する信頼の向上という共通の目的のために、業種・業態等の立場や利害の違いを超えた協働を進めます。
- 3.協働による相乗効果を発揮するために、公平性、透明性を重視するとともに、多様性を尊重し、お互いにとってより良い解(WIN-WINの関係)を探す姿勢を保ちます。
- 4.「協働の着眼点」を、社内、事業者間、さらに、消費者とのコミュニケーションのツールとして活用します。
- 5.「協働の着眼点」の活用を拡大、発展させていくため、その活用に関する情報共有や意見交換に努めます。
- 6.法令を遵守することはもとより、「食」に関わる事業者としての社会的責任を意識して行動します。
- 7.「食」に対する信頼の向上を終わりのない挑戦と捉え、「協働の着眼点」の改善に寄与するとともに、FCPの持続的発展に貢献します。

# memo